

「鎌倉観光文化検定公式テキストブック」正誤表

次のとおり誤りがありましたので、お知らせいたしますとともに、お詫び申し上げます。

なお、公式テキストの記載内容や正誤表に関するお問い合わせは、下記の編集・発行元までお願い致します。

平成24年7月30日現在

初版(1刷・2刷含む)	改訂版	改訂版2刷	誤	正
ページ数 段・行	ページ数 段・行	ページ数 段・行		
18 上・6	18 上・6		大船小袋坂の切通し	大船小袋谷
23 下・10	23 下・10		幕府を大倉から宇津宮辻子に	翌年、幕府を大倉から宇津宮辻子に
28・33 下・後ろから4／中・14	28・33 下・後ろから4／中・14		一八八五年(明治十八)	一八八〇年(明治十三)
	31 下・囲み内	31 下・囲み内	稱名寺	称名寺
	31 下・囲み内	31 下・囲み内	—	極楽寺(忍性墓)
33 下・5	33 下・5		一九五五年(昭和三十)に湘南道路	一九五六年(昭和三十一)に湘南有料道路
34 上・8	34 上・8	34 上・8	一九一〇年(明治四十三年)	一九〇八年(明治四十一年)
34 上・13	34 上・13	34 上・13	同じ年	一九一〇年(明治四十三年)
41 上「勝長寿院」の項	41 上「勝長寿院」の項		(ルビ)じょうちょう	せいちょう
49 上・8	49 上・8		(ルビ)みくつに	みつくに
50 上「勝ノ橋」の項	50 上「勝ノ橋」の項	50 上「勝ノ橋」の項	英勝寺を開山した	英勝寺を開基した
60 中・12	60 中・12		関東管領	関東管領の一族
75 上・5			宝戒寺の「宗園梅」は見ごとな枝ぶりのシダレウメ	(削除)
92 上・1	92 上・1	92 上・1	後醍醐天皇	後宇多天皇
	95 下・後ろから5行目	95 下・後ろから5行目	一二六五年(康元元)	一二五六年(康元元)
97 下・7	97 下・7		祀堂	祠堂
	110 上・後ろから3行目	110 上・後ろから3行目	一一八二年(義和二)	一一八二年(養和二)
114 中・2			鶴岡八幡宮、勝長寿院と並ぶ三大寺として	(削除)
116 中・4	116 中・4		市文	市重文
164 下・17	164 下・17	164 下・17	一九七二年(昭和四十七)	一九七一年(昭和四十六)
167 上・5	167 上・5	167 上・5	運慶の孫	運慶の子
167 上・5～6	167 上・5～6	167 上・5～6	宋の仏師、陳和卿	宋の工人、陳和卿
167 下・7	167 下・7	167 下・7	(ルビ)みはし	みつはし
171 下・8	171 下・8		直垂姿	直垂や袴姿
173 上・5～6	173 上・5～6	173 上・5～6	武田流宗家	武田流司家
178			汐神楽	潮神楽
182			七月四日 水子地蔵大祭	(削除)
183	184		小動神社例祭	天王祭
	184 八雲神社例祭の詳細文内2行目	184 八雲神社例祭の詳細文内2行目	山崎の八雲神社	山崎の北野神社
191 下「九条(藤原)頼経」の項	193 下「九条(藤原)頼経」の項	193 下「九条(藤原)頼経」の項	1251年(建長3)、京都に追放された。	1246年(寛元4)、京都に追放された。
195 下「長与専斎」の項	197 下「長与専斎」の項	197 下「長与専斎」の項	1883年(明治16)に由比ヶ浜を	1884年(明治17)に由比ヶ浜を
204 一三四二年の項	208 一三四二年の項		興国二	興国三
204 一四五五年の項	208 一四五五年の項	208 一四五五年の項	下野(しもつけ)・古河	下総(しもうさ)・古河
	208 一四八三年の項	208 一四八三年の項	一四八三／文明十五年	一四八六／文明十八年
206 一九四八年の項	211 一九四八年の項	211 一九四八年の項	一九四八 鎌倉花火大会始まる	一九四九 鎌倉花火大会始まる
	214 二〇〇二年の項	214 二〇〇二年の項	二〇〇二 第二次鎌倉ペンクラブ発足	二〇〇一 第二次鎌倉ペンクラブ発足
208 二〇〇六年の項	214 二〇〇六年の項		鎌倉世界遺産登録推進会議	鎌倉世界遺産登録推進協議会
P.103ほか右の寺名が登場する箇所	P.103ほか右の寺名が登場する箇所	P.103ほか右の寺名が登場する箇所	安国論寺	安國論寺
P.77,106,181	P.77,106,182	P.77,106,182	大寶寺	大寶寺

【お問い合わせ先】

かまくら春秋社(編集・発行)

TEL:0467-25-2864

FAX:0467-60-1205